

令和7年1月15日（水）
内子分庁3階大会議室

内子町部活動地域移行推進連絡協議会（第5回）会議録

挨拶 委員長

第4回に引き続き、第5回を開催できることを感謝します。半分の委員に参加いただき、先進地熊本へ視察に行くことができました。内子町の運営のヒントを得られたと思います。また、委員同士で意見交換でき有意義な時間だったと思います。研修の成果を生かしていければと思います。本日は、運営について協議いただきますが、質問が中心となるかもしれません。よろしくお願いいたします。

◆協議1 前回からの動向について（報告）

- (ア) 第4回部活動地域移行推進連絡協議会会議録
- (イ) 内子町PTA 連合会教育懇談会会議録
- (ウ) 熊本県視察研修について

委員長 せっかくですので、熊本視察の感想などお願いいたします。

委員 説明でもあったように、加わる人の熱意、ボランティア精神に裏付けられた活動になっていて、活発でよかったが、直接持ってくるのは難しいと感じた。内子町において検討するための、よりよいベターな方法や委員会のバックアップなど見識を深められた2日間だった。

委員 現実にはいろんな指導者と話をしたら、指導者確保が一番の課題になるのではないかと感じた。

委員 本当に「どうにかして子どもたちの環境を作っていく」という気持ちがないと難しいと感じた。この場にいる人は、そういう人たちなので、内子町もできるのではと感じた。先行きは明るいと感じている。やることはたくさんあるけれど力を合わせていきたい。

委員 これまでは、ここで聞くだけだったが、行ってみていろいろ分かった。熱意がすごく、それに支えられて活動もできていると感じた。子供から大人までスポーツを楽しむ。私たちは、中学生の部活動ということ踏まえつつ、内子スタイルを作っていければならないと思った。

委員 金銭面が気になった。先生のボランティア、町のお金。受益者負担では子供が減っていくことから、他の収入が必要ということ。熊本県は、競技をするクラブが別にあって、受け皿として作ったということだった。熊本は100人規模で話し合いをしたということ。内子町ももっと人を集めて話してはどうかと思う。

委員 熊本は熊本。内子は内子でいかないと難しい。熊本は、小学校の部活動。内子は、中学校の部活動でレベルが違うのではと不安を感じた。熊本も中学校は検討中だった。一から練り直さなければと感じた。

協議 2 地域クラブ活動の運営について（案説明）

内子町における総合型地域クラブ活動の構想

参考資料 1 「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ概要

参考資料 2 法人化について

- 委員長 内容説明であったように、教育委員会としてはじめて具体的なものが出てきたと思っているので、何でもいいので質問を出していただきたい。
- 委員 総合型クラブを立ち上げることに、基本的には賛成。研修後、神戸で KOBEKATSU（コベカツ）という団体ができるニュースがあった。大きな分母のところではそういったやり方もできるのかもしれない。いろんな自治体があるやり方で出てきているが、どう考えるか。やり方を変えることはできるのか。
- 事務局 国は、「地域展開」としている。いずれにしても、大変さは感じている。すぐに衰退する可能性もはらんでいるという危機感も持っている。いいものを生み出せる体制づくりが望ましいと思っている。そのために必要な取り入れるべきところは、取り入れていきたい。
- 委員長 いい案があれば柔軟に対応するという事だと思う。「地域移行」から「地域展開」という言い方になり、引き延ばしなど国の腰が引けた印象があるため、先生も不安になっている。先生の働き方改革も含めてなので、地域移行は必要という認識には変わらない。ただ、どれだけのことをできるのか、ハードルは高いと感じる。
- 委員 指導者確保について。今年度は7種目の外部指導者がいると聞いた。今後のめどなど立っているのだろうか。
- 事務局 重要な案件なので、学校と協議し、顧問の先生と話をしたい。一人一人に会って、現在どんな思いで活動し、どんな形で引き継げたらよいかということを確認したい。関わる保護者、スポーツ・文化関係者の情報もいただきたいと思っている。協会の活動にも出向いて、そこに中学生が入ることができるのか情報を集めていきたい。来年度は、ほとんどの部活動が地域の指導者の方とできるように、1～3月に情報を収集する予定である。
- 委員長 内子町ではまかなえないものもあると思う。県の方から人材サポートは可能か。
- アドバイザー 県スポーツ協会は人材バンク活用して動いている。県は人材発掘に動いている。派遣できるのかは分からないが、人材発掘はしているようだ。
- 委員長 費用面で難しいかもしれないが、子供のことを考えるとこれも視野に入れたいと思う。
- 委員 先生の兼業は、考え方から除いたほうがいいのではないかと。内子から他市町へ異動しないというのは難しいのではと思う。
- 委員長 最初は先生の支援も必要と思う。
- 事務局 令和7年度には、先生方と地域の方とどういった関わりをしてもらおうか進めながら探りたい。最終的には地域となるが、最初は先生の力を借りないと難しい。
- 委員長 徐々に変えていく。いっぺんには難しい。

- 事務局 指導以外の補助的な関わりという面も探りたい。
- 委員 地域移行ではなく、地域展開。熊本市のように部活をやる、神戸市のように地域移行する、どちらでもよいのではないかという雰囲気がある。先生の力を借りながらやるのがいいと思う。
- 委員長 地域展開ということで、先生の力も借りやすくなった。柔軟に残しておいたほうがよいのではないか。
- 事務局 熊本では、誰かにあずけてしまうという場合の危険性について紹介があった。みんなで協力するというのいいと思う。先生の負担をどうやって軽減するのかということを決めないといつまでも変わらない。クラブ活動を立ち上げるとなれば、先生がどう関わるか決めやすくなるのではないか。
- 委員 来年度総体が終わった後、先生にやるかやらないか聞いておく。それほど積極的に関わりたいという先生はいないと思う。手当て、条件など分かればよいと思う。
- 委員長 先生に報酬は支払えるのか。
- 事務局 現在、役場職員や事務職員で関わっている方の謝金は、休日についてのみお支払いをさせていただいている例がある。公務員の兼業については、休日対応になると思う。
- 委員長 月から金の平日は、教員には出せないのではないか。
- アドバイザー 兼業については、実施主体がどこになっているのかはつきりしないと難しいのではないかと思う。地域クラブが主体となると払えるようになるのではと思う。
- 委員長 拠点校方式である令和7年度の支払いは難しいということになる。
- 委員 令和8年度から教員が協力するとなると、令和7年度フェードアウトして、令和8年度フェードインとなると難しい。
- 委員 来年度おわって、再来年度やるということなのか？ 再来年度から6年かけてやると文科省は方向転換しているように思うが。
- 委員長 当初と変わってきて、今は分からない。内子町の令和7、8年度の考え方について、整理する必要がある。一番は地域の人材集め。先生の関わりも整理する。
- 委員 PTA との話の中で、野球を例に、「指導者の資格がないとクラブチームは出場できない」ということがあったが、水泳クラブの現状も資格がないと中体連に登録ができない。水泳に関して言うと、10月に資格取得の研修を受けると翌年の発行になる。早急に対応しなければ、資格については間に合わないかもしれない。中体連との意見交換はしているか。
- 事務局 中体連の令和7年度の要項がこの12月に出された。この後確認していこうと思っている。クラブチームの参加についての考え方は、昨年と大きく変わらなかったため、今後どういう流れをつくるのか情報を得たいと思っている。
- 委員 愛媛県ではなく、全国中体連が方向性を示している。各競技によって違う。資格が満たされないとクラブとしての登録ができない場合が多い。ただ、教員の引率があれば、条件が緩和される競技もある。
- 委員 現状として調べていかないと。何年かかるか調べておかななくてはならないと思う。
- 委員 ホームページで出ているので、確認ができる。
- 委員 資格が必要なら対応が必要。

- 事務局 子供の活動が途切れないようにしたい。
- 委員 現状7種目の地域の方は資格があるのか。
- 事務局 野球は審判の資格があるので試合などでは活躍してもらっている。指導資格は、県内で取得するための動きもあるとの情報をいただいている。
- 委員長 先生がいないと難しいという状況は、文科省の示す改革に反している。国も足並みがそろっていないという気がする。
- 委員 立ち上げ前ではあるが、一年間のランニングコストはどれくらいか。受益者負担と町がどれくらいで、どれくらいの事業規模になるか。2000万円くらいか。
- 事務局 細かく言うと、スクールバスも活用するので、単独でいうともっとかかる。今までの部費と同様、消耗費や登録料などは会費で負担し、それ以外の事務局や指導者の人件費は町からの補助と考えている。
- 委員 町がはじめは出すとした場合、社団法人でもNPO法人でもいいのか。
- 事務局 公益であれば、どちらも同じ位置付けで補助できると見込んでいる。
- 委員 吹奏楽でいうと、楽器は高い。そういうお金も入れておいてほしい。子供から集めることもありうるが、足りないと思う。
- 委員長 予算については、議会の承認も必要。内子町全体で子どもたちの活動をどう考えるか。受益者負担もしっかり位置付けが必要。慎重に考えるべき。
- 委員 体育館に設置した自販機の売り上げを活用するとか、工夫が必要。
- 委員長 施設の維持管理、具体的な基盤づくり、工夫が必要。
- 委員 PTAの方にお聞きしたい。今年度拠点校部活動を実施するために、移動時間などを含めていろいろと調整した。普段の学校生活に負担をかけながら、15:40に学校をやめて移動しており、かなり子どもの授業、学校活動にも負担がみられている。例えば、活動時間を30分後ろにずらして、行きはスクールバスで対応するが、帰りは保護者に迎えに来てもらうのは受け入れられ方としてはどうか。
- 委員 スクールバスが無理なら、町営バスは出してもらえないのか。
- 委員長 町営バスを出すなら、スクールバスを出す方が、費用的に負担は小さい。
- 委員 住んでいるところで意見が分かれるのではないかと思う。負担が全然違うと思う。
- 委員 個人的には抵抗はない。現在スポーツ少年団で、内子から元参川小学校で活動したり、小田から内子小学校で活動したりする場合があるが、問題はない。毎日となるとどうかと思うが、今の活動では反対はない。各家庭同士で割り振ってやっている。送迎できないので入れないという子もいるが・・・。
- 委員 中学校は自転車で行っているが、帰りはどうしたらよいかと思う面はある。バスありきでなく、指導者ありきでクラブによって時間を変えてもいいのではないか。
- 委員 剣道部で、拠点校になり、週2回小田から内子に行っている。指導者がいるのでお願いしている。中学校内に兄弟がいて、それぞれ違うクラブに入り、場所や活動時間もバラバラだと、対応は難しいと思う。
- 委員長 例えば、16時に帰って、18時にクラブが始まる場合、小田、大瀬などその時間どうするか。部活の時間をずらす影響は大きいと思う。学校が終わって、部活動するというのいいと思う。指導者のこともあるので一概には言えないと思うが。
- 委員 放課後児童クラブの仕組みを活用することはどうか。部活動が18:00からであれ

ば、18:00 まで放課後児童クラブで待ってもらってというのは無理なのか。

委員 そのように時間を伸ばすと、高校生の部活よりも子供に負担がかかる。中学生が部活をする時間ではないと思う。支障がどこかに出てくる。

委員 中学生が自分で行ければいいが、移動距離が長いと難しい。

委員 吹奏楽部に関わる機会があり、その時に大きく感じたのは、部活動の顧問、指導員などとにかくたくさんの方が関われば負担が減らせるということ。指導者も複数人いれば休みやすいし、気軽に関われると思う。技術面だけでなく運営面で関わってもらうだけでも大変助かる。指導者の確保、関わる人の確保が大事かなと思う。

委員長 時間を過ぎているので、今日はここまでとする。今日の疑問を整理して次回検討する。

委員 次回は指導者の情報もまとめてほしい。

挨拶 副委員長

アドバイザーの皆様、委員の皆様、事務局の皆様、ありがとうございます。改めて難しい問題だと思います。令和8年度を見据えながら、来年度（令和7年度）は、4月から、そして3年生が引退する8月くらいから移行の準備の年になると思います。前を向いて進んでいかなくてはと考えています。愛媛県では、高校入試において「特色入学者選抜」が導入されました。特色というところでは、部活動を3年間頑張ったことを武器に未来を切り開いていくという生徒もいると思います。内子町の子供の個性を伸ばしていきたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。